NIE実践報告

1．タイトル：**☆新聞記事を活用した時事問題の教材化**

2．学校名

大阪府立三島高等学校

3．実践者名（代表者名）

松井　克行

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

公民科「政治・経済」　約120人

6．単元（本時の学習課題）名

①「派遣切り」－　非正規労働者の雇用問題。　　②パレスチナ自治区ガザへの空爆。

7．目標（狙い）

①「派遣切り」の問題点について知る。「派遣労働の是非」を考える。
②ガザ空爆からパレスチナ問題を知る。ガザ空爆の悲惨さを共感的に理解する。

8．評価の視点

①「登録型派遣」は廃止すべきか?　「製造業派遣」は廃止すべきか?　歳出の伴う政府の雇用創出政策に賛成か?　との問いに、授業で学んだ知識を活用し、合理的な理由付けを示し、意見を述べられるか。②省略。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

3学期(1月)の応用的単元(「時事問題について、政治・経済の観点から迫る①、②」)
全3時間構成の1、2時間目にあたる。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①新聞記事を教材として活用しながら、「登録型派遣における中途解除者に対し、残りの契約期間の賃金が保障されない」という「派遣切り」のメカニズムについて学習する。次に、「価値論争問題―君は『派遣切り』についてどう考えるか?」について各生徒に見解を問うた。(合理的意思決定)
②新聞記事を教材として活用しながら、ガザ空爆の前提知識としてパレスチナ紛争と和平交渉の歴史を学習した。授業の後半では、「もし、私たちが暮らす地域が、爆撃を受け、死者は少なくとも680人、負傷者が3000人（死者の1/3前後、負傷者の45%が女性や子ども）という状況下なら、あなたはどう思うか?」について各生徒に見解を問うた。（共感的理解）

11．児童・生徒の反応、感想・意見

①感想例:「派遣は全て廃止すべき。派遣があることにより正社員を雇うのが減っているから」
②感想例:「もし自分がその状況にあったら、自分も明日殺されるかも、とか今日どうやって生き延びるか、とか毎日考えていると思う。とても怖いし、安心して眠れないと思う。（以下、省略）」

12．成果と課題

時事問題の教材化は迅速性が要求される。しかも入手可能な情報が少ないという制約下では、本小稿で紹介したような、事件の背景、歴史、争点をまとめた記事が大変役立つ。また危険を冒したガザ地区での取材に基づくルポルタージュこそが、教室に臨場感をもたらすことができる。
今回は授業時間の制約から、生徒の感想・意見をフィードバックし、さらに思考を深める時間がとれなかった。今後の課題としたい。